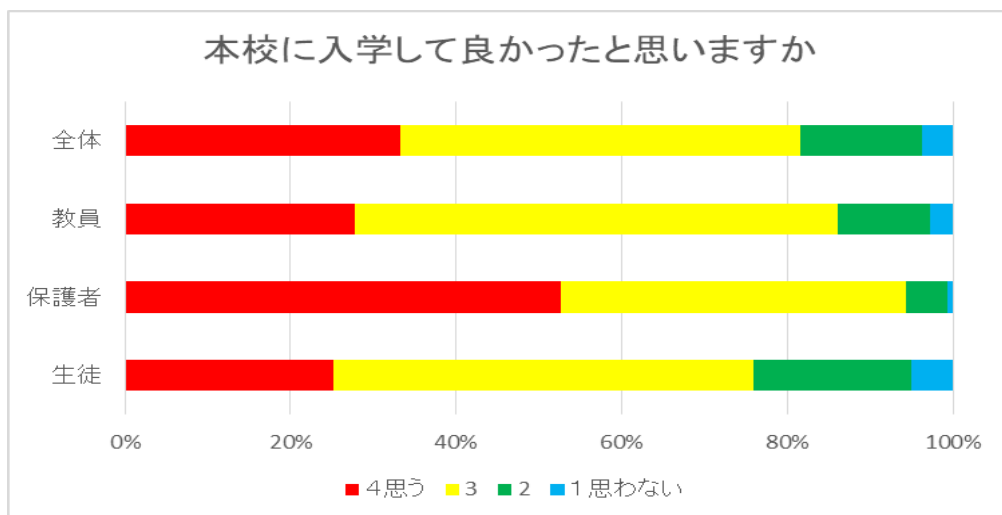


## 2. 学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員）集計結果及び分析

### （1） 本校に入学して良かったと思いますか。

	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	164	25%	148	53%	10	28%	322	33%
3	332	51%	117	42%	21	58%	470	48%
2	124	19%	14	5%	4	11%	142	15%
1思わない	33	5%	2	1%	1	3%	36	4%
合計	653		281		36		970	

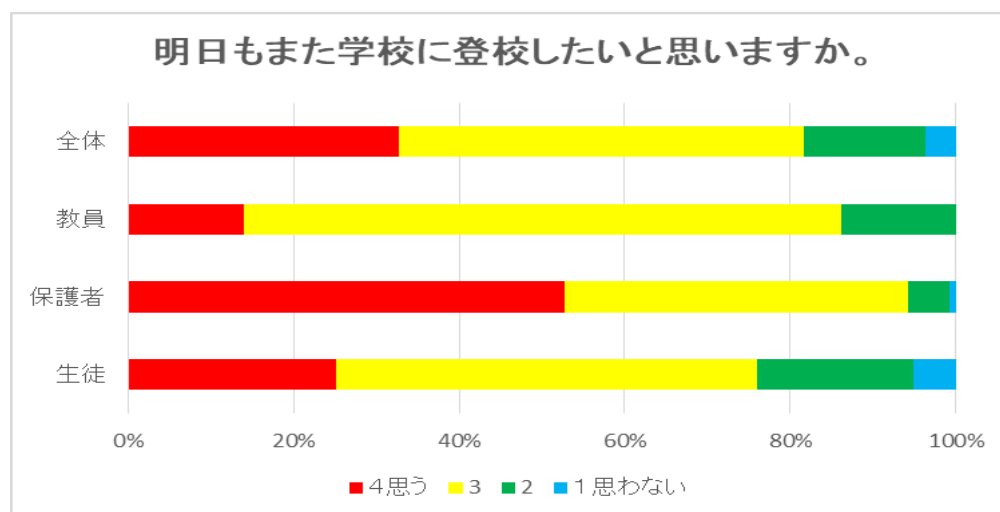


【分析】全体の81%以上が肯定的な回答であった。特に保護者の95%が肯定的な回答であり子供が本校に入学して良かったと思っている。

本校の取り組んできた学習指導・進路指導・生活指導への評価が現れた結果となっている。連絡帳アプリを使ったHR担任との綿密な連絡体制ときめ細やかな指導が評価に影響していると思われる。感染対策も含めて、今後も家庭との連絡を密に取りながら生徒を指導してゆく体制を向上させていくことが重要である。

### （2） 明日もまた学校に登校したいと思いますか。

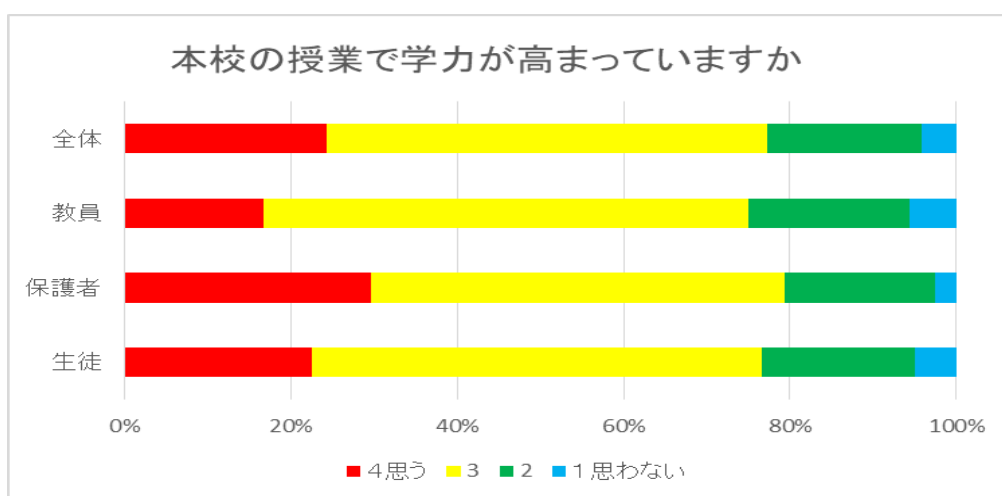
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	164	25%	148	53%	5	14%	317	33%
3	332	51%	117	42%	26	72%	475	49%
2	124	19%	14	5%	5	14%	143	15%
1思わない	33	5%	2	1%	0	0%	35	4%
合計	653		281		36		970	



【分析】全体としては82%が肯定的にとらえている。生徒は76%が肯定しているが、ある程度思うが51%となっている。この原因としては感染対策に対するストレスや様々な制限があると思われる。また教員も63%がある程度思うを選択しており、文化祭や体育祭などの行事も縮小され、日常の昼食時の黙食指導などから生徒がのびのびとした活動ができていない状況を反映しているものと思われる。

(3)本校の授業によって身につけたい勉強ができ学力が高まっていると思いますか。

	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	147	23%	83	30%	6	17%	236	24%
3	353	54%	140	50%	21	58%	514	53%
2	121	19%	51	18%	7	19%	179	18%
1思わない	32	5%	7	2%	2	6%	41	4%
合計	653		281		36		970	

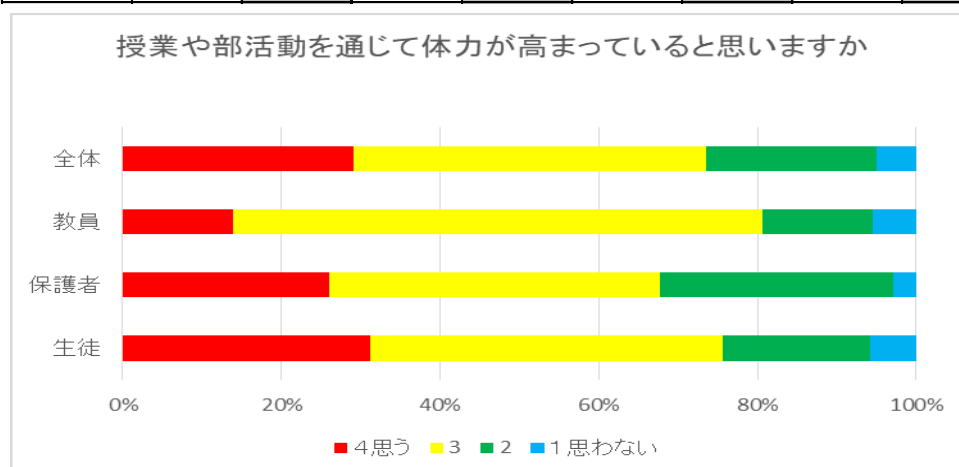


【分析】全体としては77%の人が学力が高まったと肯定しているが、ある程度思うが全体の53%である。基礎ゼミ・発展ゼミや各教科の教員が丁寧に授業を行っているが、どちらにも参加していない生徒が目標設定を行い学力向上に向けた取り組みに向かうような体制を構築することが望まれている。

また自習室を常設したことで校内で自学自習を行う環境が実現した。生徒が校内で自学自習を行っていけるように指導体制を構築し行くことが必要であると思われる。

(4)本校の体育授業や部活動を通じて体力が高まっていると思いますか。

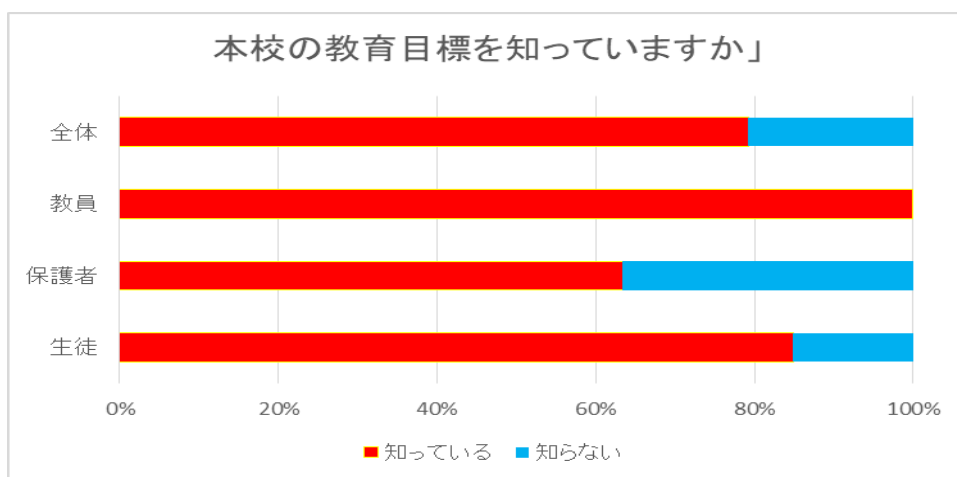
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	204	31%	73	26%	5	14%	282	29%
3	290	44%	117	42%	24	67%	431	44%
2	121	19%	83	30%	5	14%	209	22%
1思わない	38	6%	8	3%	2	6%	48	5%
合計	653		281		36		970	



【分析】肯定する回答が73%と昨年に比べて1%増加している。コロナ禍ではあるが、つうじょうの体育の授業や全学年が参加しての体育祭などが行えたことが影響しているとも割れる。しかし、今年度の1年生の部活動加入率は約40%であることから、中学時代から続いているコロナ禍による活動の自粛や制限などが関係して、生徒が他人と接触する可能性のある活動を避ける傾向にあると思われる。今後は生徒が体力向上に向けた取り組みが行えるように考え実行していくことが必要である。

(5) 本校の教育目標が「活眼を開いて心身を鍛える」であることを知っていますか。

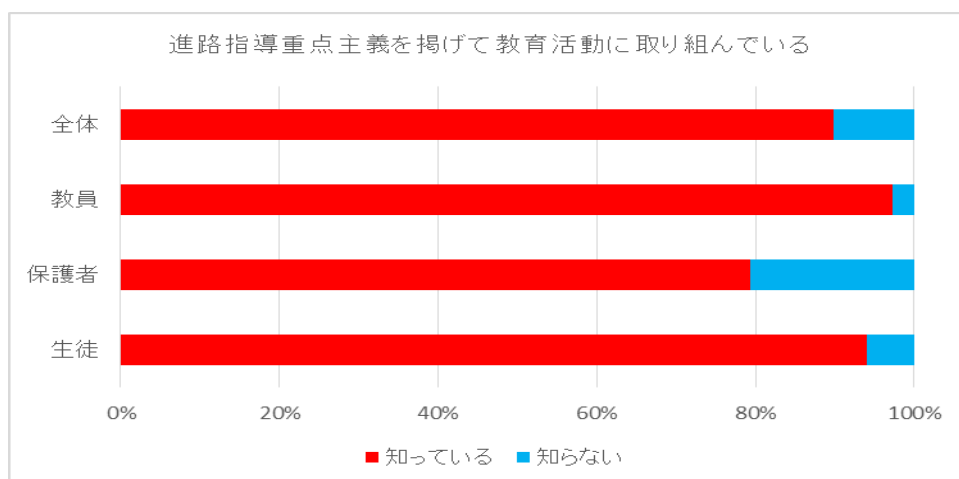
	生徒		保護者		教員		合計	
知っている	554	85%	178	63%	36	100%	768	79%
知らない	99	15%	103	37%	0	0%	202	21%
合計	653		281		36		970	



【分析】生徒・保護者は昨年度は72%であったのに対して今年度は74%に上昇し、全体では79%が知っていると答えている。生徒に対しては学年集会や進路行事等を通じて教育目標とその重要性を理解させる必要がある。また保護者に対しては本校の取り組む教育が教育目標に沿った内容で進められていることを保護者会や連絡網を通じて伝え、理解してもらうことが大切である。

(6) 本校は進路指導重点主義を掲げ、学習・生活・進路等すべての教育活動において、社会人基礎力の育成を最も重視していることを知っていますか。

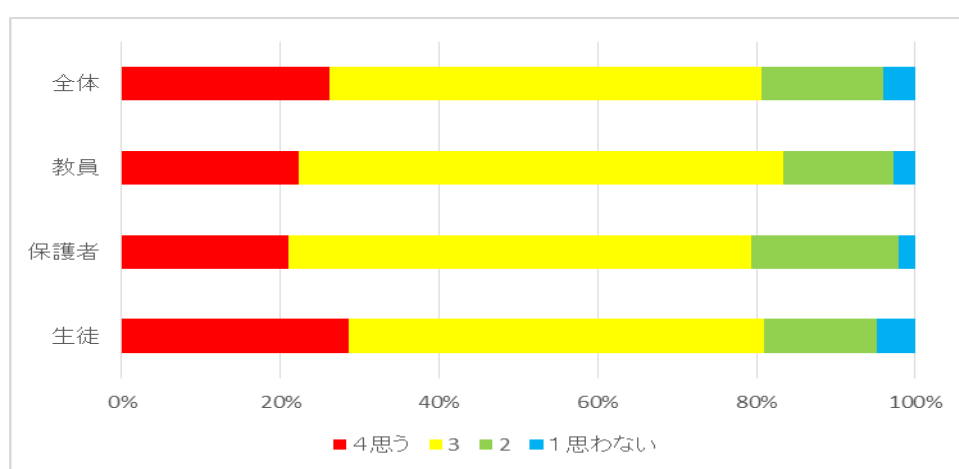
	生徒		保護者		教員		合計	
知っている	614	94%	223	79%	35	97%	872	90%
知らない	39	6%	58	21%	1	3%	98	10%
合計	653		281		36		970	



【分析】昨年度の生徒・保護者の知っているを選択した割合は88%であった。それに対して今年度は生徒94%・保護者79%で平均すると86.5%が知っていると回答している。全体でも90%が知っていると答えている。この理由としてはホームルーム活動、進路指導会、全校集会等において進路指導重点主義としての取り組みを伝え、教育目標に沿った生徒指導を行ったことが生徒の理解を向上させたものと思われる。

(7) 本校の教育活動を通じて「社会人としての基礎力」が高まっていると思いますか。

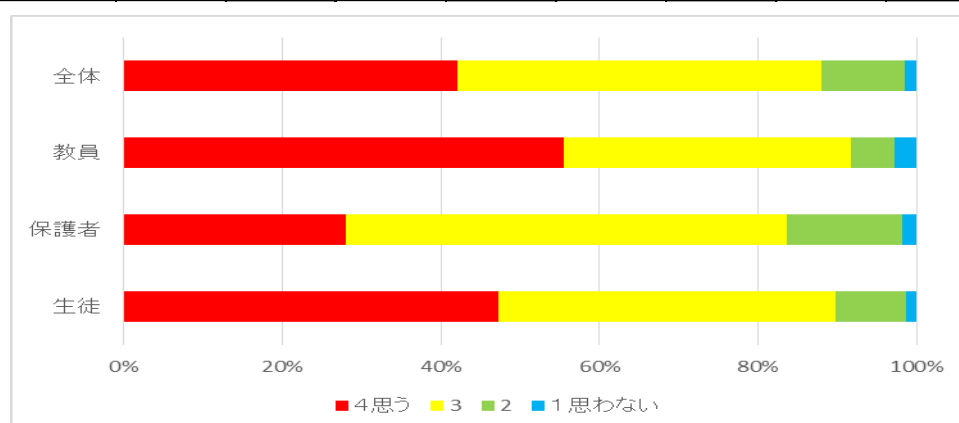
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	187	29%	59	21%	8	22%	254	26%
3	342	52%	164	58%	22	61%	528	54%
2	92	14%	52	19%	5	14%	149	15%
1思わない	32	5%	6	2%	1	3%	39	4%
合計	653		281		36		970	



【分析】生徒は81%、保護者は79%が「社会人基礎力」が向上したと選択している。全体としては昨年度より1%の上昇がみられる。1年次からの継続した進路指導と様々な体験活動、防災教育やいじめ防止教室など様々な取り組みを経験していることが「社会人基礎力」の向上につながっていると思われる。今後は自転車を含めた交通ルールの順守、進路活動などを通して必要な能力を獲得できるように取り組んでいく必要があると思われる。

(8) 本校の進路指導は充実していると思いますか。

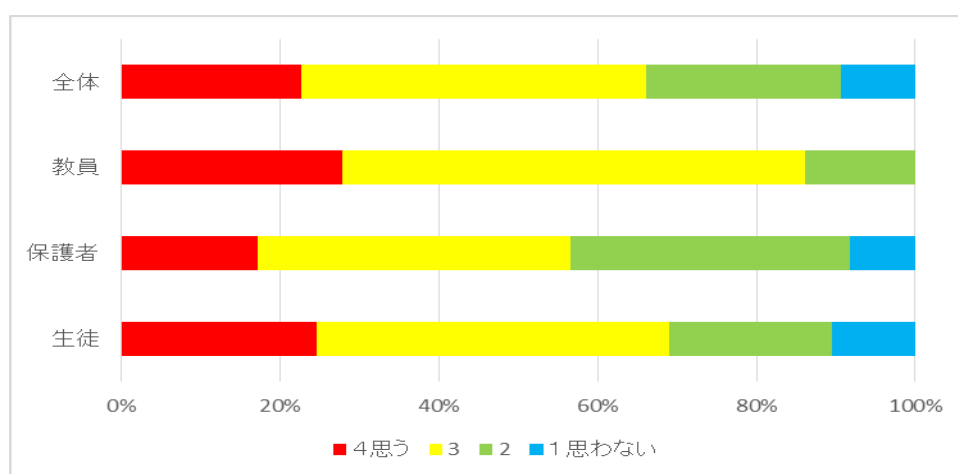
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	309	47%	79	28%	20	56%	408	42%
3	277	42%	156	56%	13	36%	446	46%
2	58	9%	41	15%	2	6%	101	10%
1思わない	9	1%	5	2%	1	3%	15	2%
合計	653		281		36		970	



【分析】「本校の進路指導は充実している」と答えた生徒・保護者の値は 86.5%であった。1年次から取り組んでいる5分野の進路指導や、発展ゼミにおける進路別学習、専門学校や大学の職員を招いての進路説明会、3年次の1学期からの面接指導や論文指導など、きめ細やかな進路指導が生徒の進路実現に大きく影響しており、このような状況を反映した回答状況になっているものと思われる。

(9) 将来のことや進路について、先生に相談していると思いますか。

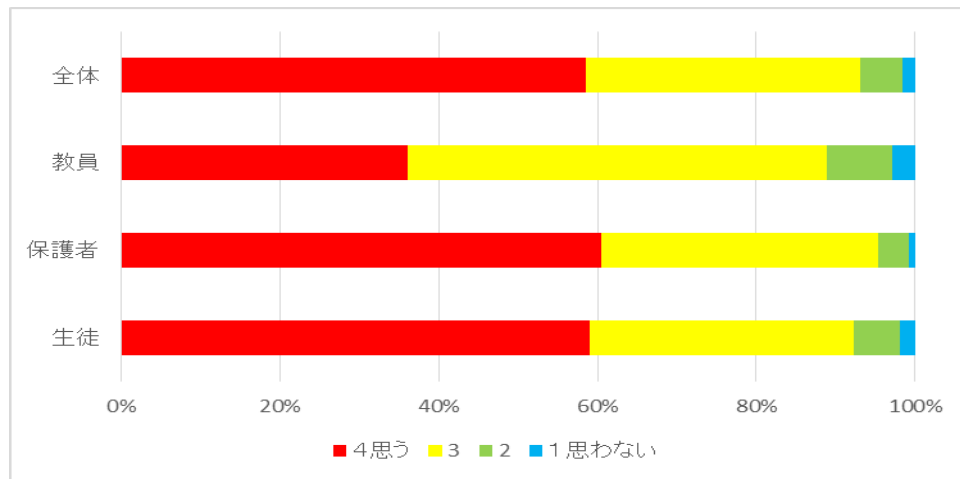
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	161	25%	48	17%	10	28%	219	23%
3	290	44%	111	40%	21	58%	422	44%
2	134	21%	99	35%	5	14%	238	25%
1思わない	68	10%	23	8%	0	0%	91	9%
合計	653		281		36		970	



【分析】進路について先生に相談していると思いますか？の問いに対しては67%が相談していると回答しており、昨年より7%上昇した。進路指導部やHR担任が定期的に指導していることが生徒の進路指導への意識に影響していると思われる。2年次に具体的な進路先を決定させるためにも年間複数回の3者面談等を通して生徒と保護者の意見を聞いたうえで進路指導を重ねていく必要がある。

(10) 本校では、遅刻指導・頭髪指導・服装指導などの生活指導が十分できていると思いますか。

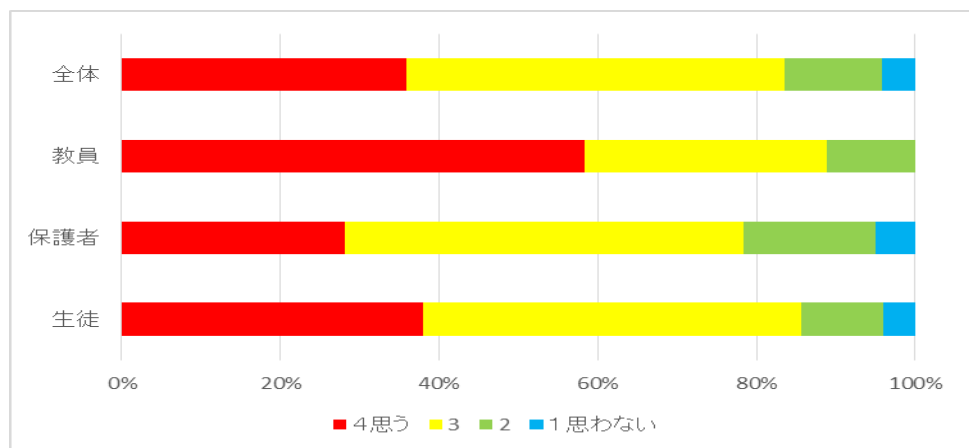
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	385	59%	170	60%	13	36%	568	59%
3	218	33%	98	35%	19	53%	335	35%
2	38	6%	11	4%	3	8%	52	5%
1思わない	12	2%	2	1%	1	3%	15	2%
合計	653		281		36		970	



【分析】全体としては94%が生活指導ができていると答えている。毎朝の登校指導の際や毎月の服装・頭髪指導を行っていることがこのような回答となっていると思われる。しかし遅刻が常習的な生徒もいるために学年による指導の回数は多い。長期休業期間中に頭髪の加工を行う生徒もおり、今後も継続的に指導していく必要がある。自転車等の乗り方や道路の横断に関する注意など学校外での行動について指導を考える必要がある。

(11) 先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれると思いますか。

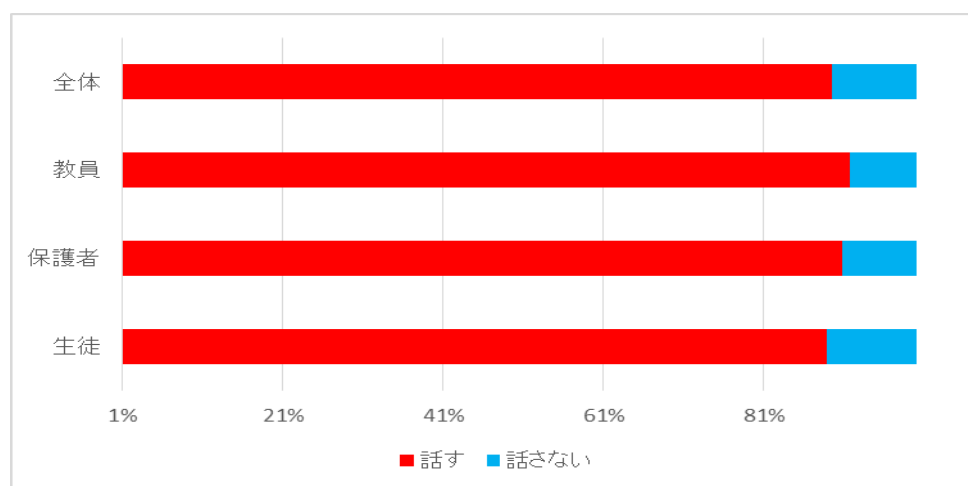
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	248	38%	79	28%	21	58%	348	36%
3	311	48%	141	50%	11	31%	463	48%
2	68	10%	47	17%	4	11%	119	12%
1思わない	26	4%	14	5%	0	0%	40	4%
合計	653		281		36		970	



【分析】悩みや相談に親身になって応じてくれていると答えた生徒・保護者は84%に達している（昨年度81%）。ホームルームや進路指導、部活動などにおいて生徒の相談にのっていることが結果として表れている。ただし教員と保護者とにずれがあるため、家庭との連絡を密にとり、相談しやすい環境を構築していくことが重要である。

(12) 家庭で、授業、友人関係、部活動、行事など、学校のことを話しますか。

	生徒		保護者		教員		合計	
話す	580	89%	255	91%	33	92%	868	89%
話さない	73	11%	26	9%	3	8%	102	11%
合計	653		281		36		970	

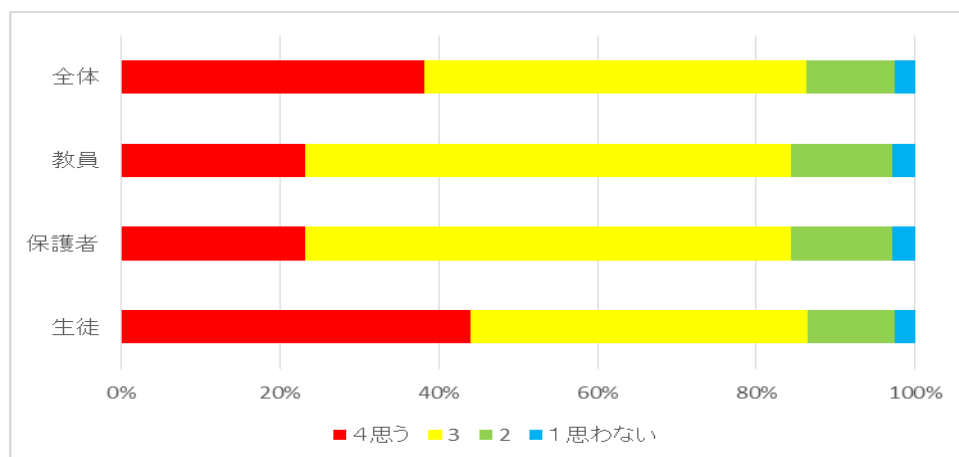


【分析】家庭で学校のことを話しますか？問う質問に対して全体の89%が話すと回答している。学校としての取り組みが家庭で話し合われていると思われる。しかし、ホームルーム担任からの連絡が伝わっていなかったり、進路指導に関する内容が正確に伝わっていないなど、今後の家庭と連絡体制の強化と内容の伝達が重要な課題となっている。Teams や連絡帳アプリを活用して学校での取り組みを保護者が確認しやすいような体制を構築して

いく必要がある。

(13) 本校では、「いじめ」や「体罰」を防止するための取り組みを十分にしていると思いますか。

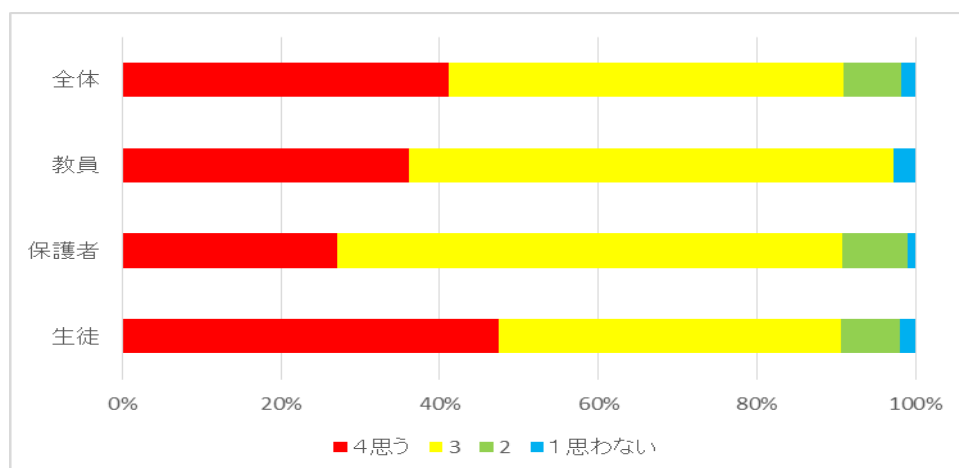
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	287	44%	65	23%	19	53%	371	38%
3	278	43%	172	61%	16	44%	466	48%
2	71	11%	36	13%	1	3%	108	11%
1思わない	17	3%	8	3%	0	0%	25	3%
合計	653		281		36		970	



【分析】いじめや体罰に関しては生徒・保護者の85.5%が取り組んでいるという回答を得ている。生活指導部によるいじめ防止教室の開催やホームルーム活動における人権尊重に向けた取り組みなどが生徒や保護者に理解されていると思われる。コロナ禍にあって学校全体や学年・クラスで取り組める行事も限られた状況のなかで、家庭・生徒・学校が連絡を取り合って生徒の変化を見逃さない体制づくりが必要である。

(14) 本校では、健康や安全に関する指導や人権を尊重する教育が十分に行われていると思いますか。

	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	310	47%	76	27%	13	36%	399	41%
3	282	43%	179	64%	22	61%	483	50%
2	48	7%	23	8%	0	0%	71	7%
1思わない	13	2%	3	1%	1	3%	17	2%
合計	653		281		36		970	

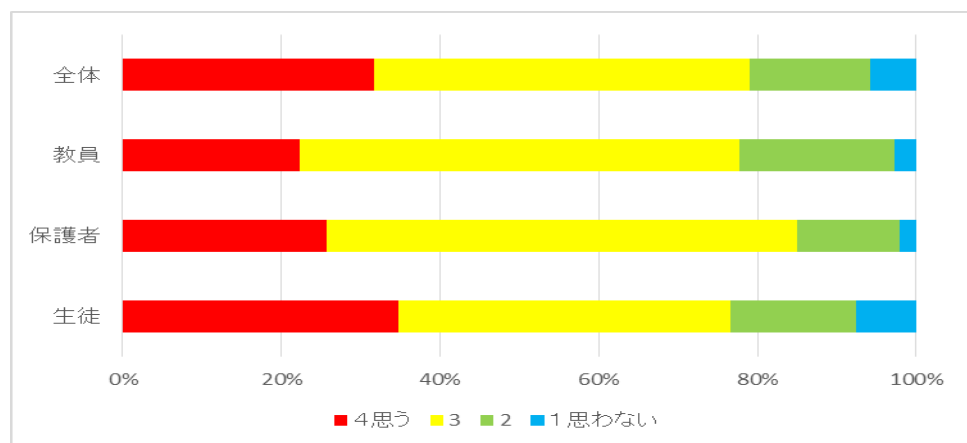




【分析】全体としては91%が「健康や安全に関する教育が十分に行われている」という回答を選択している。各学期に行われている避難訓練や昭島消防署・昭島市防災課に來校していただき防災訓練や防災講和を行ったことが生徒・保護者の回答に影響していると思われる。

(15) 本校の体育祭や文化祭などの学校行事は充実していると思いますか。

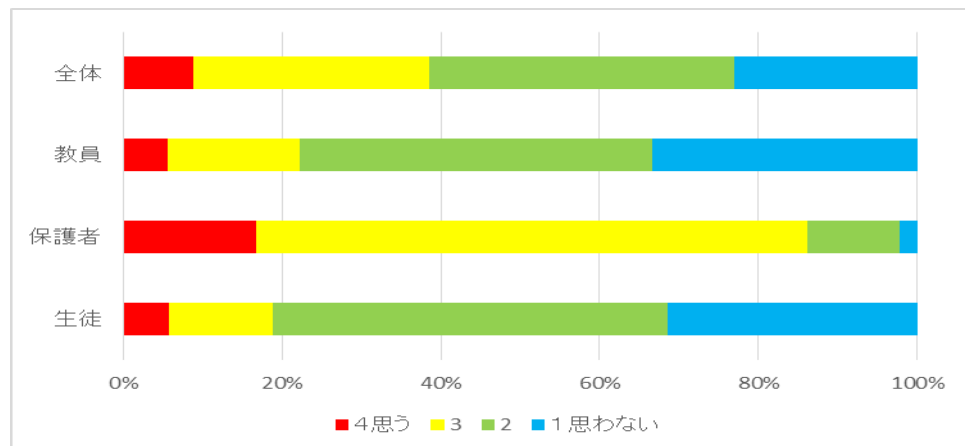
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	227	35%	72	26%	8	22%	307	32%
3	273	42%	167	59%	20	56%	460	47%
2	104	16%	36	13%	7	19%	147	15%
1思わない	49	8%	6	2%	1	3%	56	6%
合計	653		281		36		970	



【分析】全体としては79%が充実していると答えている。昨年度の69%から10%上昇した要因としては、感染対策はあったものの清流祭が行えたことや、全学年が参加しての体育祭が実施できたこと。2・3年生の修学旅行や芸術鑑賞会が実施できたことが影響していると思われる。コロナ禍の状況は今後も続いていくと思われるので感染対策に注意を払いながら生徒にとって充実感の得られる行事を計画し実行していくことが必要である。

(16) 学校の施設【教室、特別教室、体育館等】は使いやすいと思いますか。

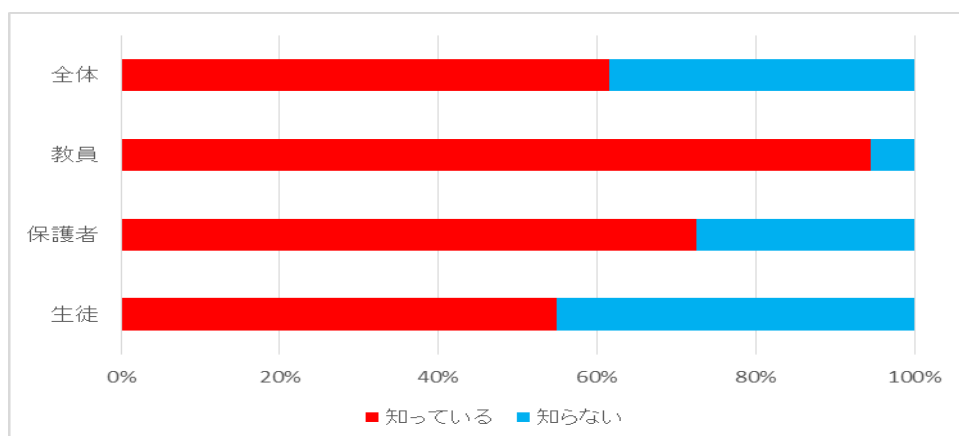
	生徒		保護者		教員		合計	
4思う	37	6%	47	17%	2	6%	86	9%
3	86	13%	195	69%	6	17%	287	30%
2	325	50%	33	12%	16	44%	374	39%
1思わない	205	31%	6	2%	12	33%	223	23%
合計	653		281		36		970	



【分析】老朽化している校舎ではあるが、清掃も行き届いている。しかし生徒・保護者の62%は使いやすいとおもわないと回答している。1年生からタブレットを導入したが、ICTを活用した授業は少なくタブレットを使用した授業も少ない。また、防災教育等でネットワークを使った情報を配信しても、通信環境の問題で使いにくい状況がある。教育環境を整備して、生徒にとって学びやすい環境を構築していく必要がある。

(17) 教員の勤務時間は8時30分から17時までであり、時間外労働を減らすべく、国や都が働き方改革に取り組んでいることを知っていますか。

	生徒		保護者		教員		合計	
知っている	359	55%	204	73%	34	94%	597	62%
知らない	294	45%	77	27%	2	6%	373	38%
合計	653		281		36		970	

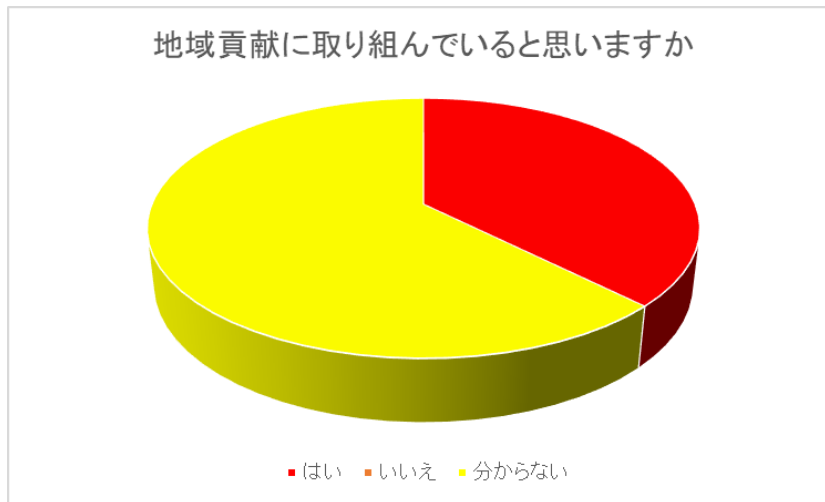


【分析】生徒の45%は教員の基本的な勤務時間が8:30~17:00であることを理解していない状況にある。部活動や公務分掌のために残っている教員も多く、生徒が理解しにくい環境であることも影響していると思われる。本校の生徒も将来労働者として働くことになるため、教員の勤務時間を知ったうえで学習や部活動に取り組むことが大切である。時間の大切さや、限られた時間の中で有益な学校生活を送れるように指導してゆく必要がある。

### 3 学校評価アンケート（地域社会・近隣社会）集計結果及び分析

(1)本校は、地域貢献に熱心に取り組んでいると思いますか。

はい	3	38%
いいえ	0	0%
分からない	5	63%
	8	

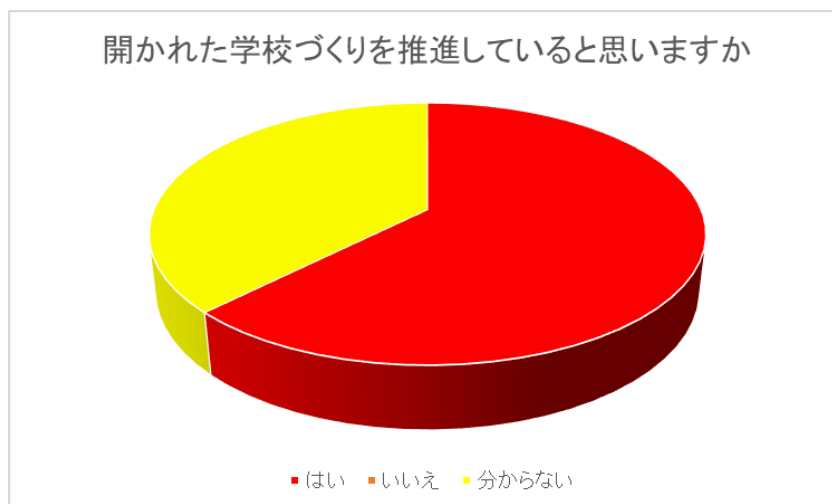


【分析】コロナ禍ではあるが、サブグラウンドを地域に貸し出したり、文化祭においては3学年の保護者のみではあるが3年ぶりの公開ができたことが肯定的な回答に表れていると思われる。

来年度はコロナの感染状況も考慮したうえで校庭開放や公開講座の実施、各部活動による一部一貢献などの取り組みを再開し、地域との交流の機会を増やしていくことが大切である。

(2) 本校は、開かれた学校づくりを推進していると思いますか。

はい	5	63%
いいえ	0	0%
分からない	3	38%
	8	

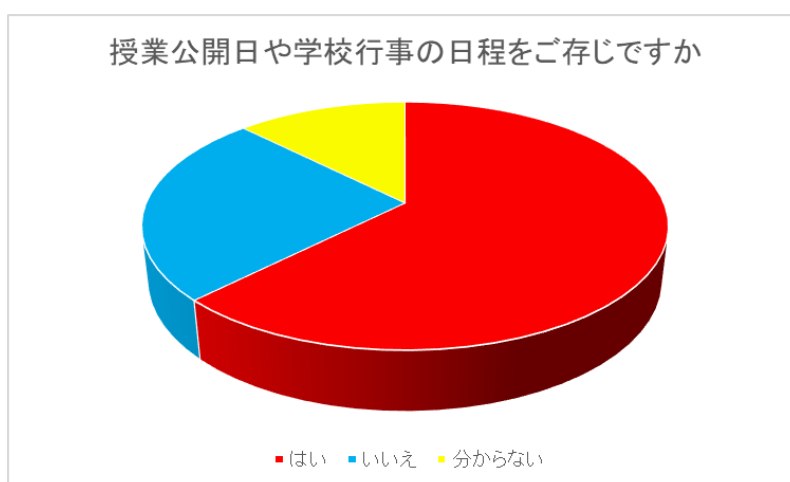


【分析】昨年度は67%が「分からない」を選択していたが、今年度は38%まで減少している。今年度は学校の施設を地域に開放できたことが理解につながったものと考えられる。

来年度に向けては、文化祭や体育祭等の行事の際には地域に開催のお知らせを配布するとともに、HP等での開催の告知を行う必要がある。また、地域の住民が本校の取り組みを知ることができるように校門付近に掲示板等を設置する必要があると思われる。

(3) 本校の授業公開日や学校行事の日程を御存じですか。

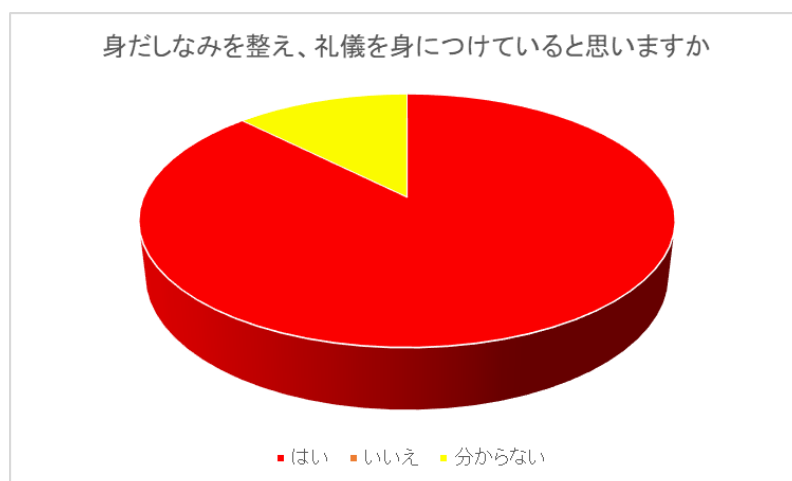
はい	5	63%
いいえ	2	25%
分からない	1	13%
	8	



【分析】本校の授業公開日や学校行事に対して全体の38%「いいえ」または「分からない」を選択している。今年度は体育祭や文化祭前に近隣への告知を行ったことで昨年よりは本校への理解は増加しているが、本校の取り組みを地域に知ってもらえるように、コロナ禍でもできる行事や地域貢献を考えて実行していく必要がある。

(4) 本校の生徒は、身だしなみを整え、礼儀を身につけていると思いますか。

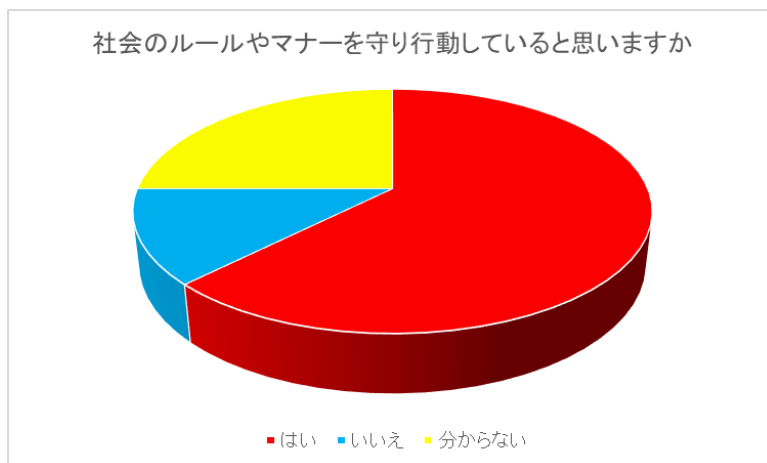
はい	7	88%
いいえ	0	0%
分からない	1	13%
	8	



【分析】88%が身だしなみを整え、礼儀を身につけていると回答している。本校生徒が高速で定められた服装で登校し、近隣の小店でも適切な対応をとっている結果と考えられる。生徒は生活指導部による頭髪・服装等の指導を受け入れる姿勢もあり、今後も身だしなみを整えた状況で学校生活が送れるように指導していく必要がある。

(5) 本校の生徒は、社会のルールやマナーを守り、行動していると思いますか。

はい	5	63%
いいえ	1	13%
分からない	2	25%
	8	

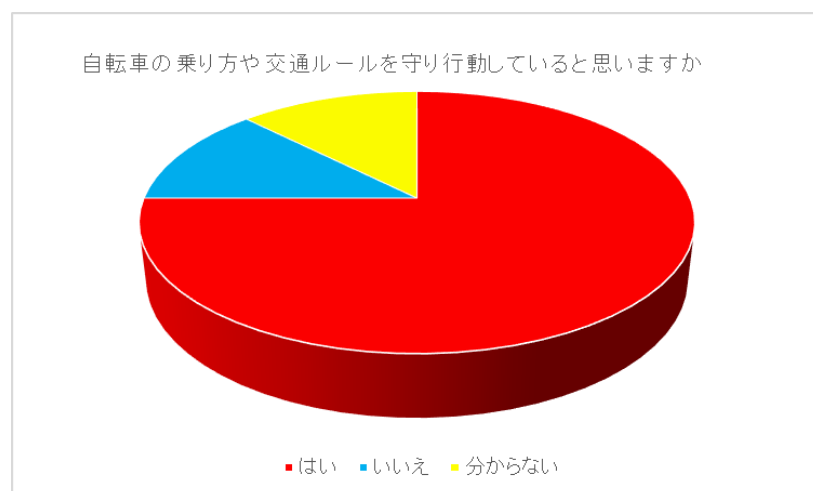


【分析】「社会のルールやマナーを守って行動している」を選択した人は63%（昨年度30%）となっている。

しかし、自転車の乗車マナーや北門付近でのたむろ、道路の横断などについての通報もある。近隣・地域社会からみられているという認識を生徒に理解させ、身だしなみを整え礼儀作法などがしっかりとできるように指導していく必要がある。

(6) 本校の生徒は自転車の乗り方など、交通ルールを守り、行動していると思いますか。

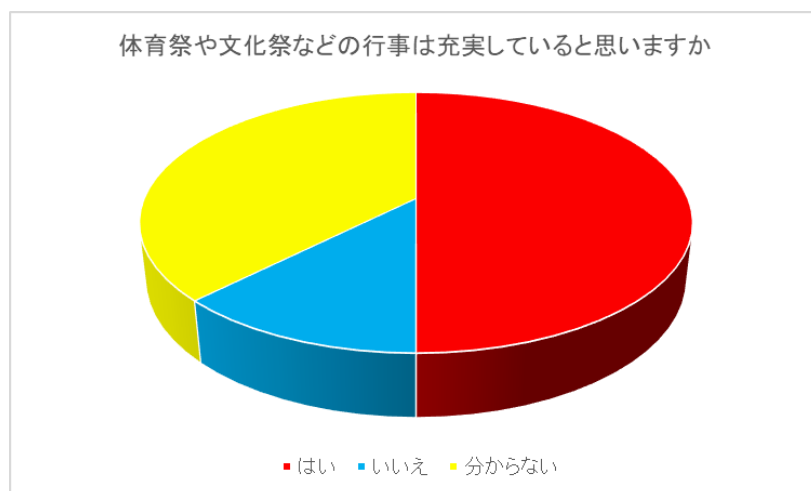
はい	6	75%
いいえ	1	13%
分からない	1	13%
	8	



【分析】登下校時の自転車の乗り方については近隣・地域社会からご指摘をいただいている。並走したり、イヤホン等を使用しての自転車走行、通路を集団で通行するなど一部危険な行動も指摘されている。本校の生徒は自転車通学が多い現状から、自転車を使用した通学のマナー等は定期的に指導していく必要がある。

(7) 本校の体育祭や文化祭などの学校行事は充実していると思いますか。

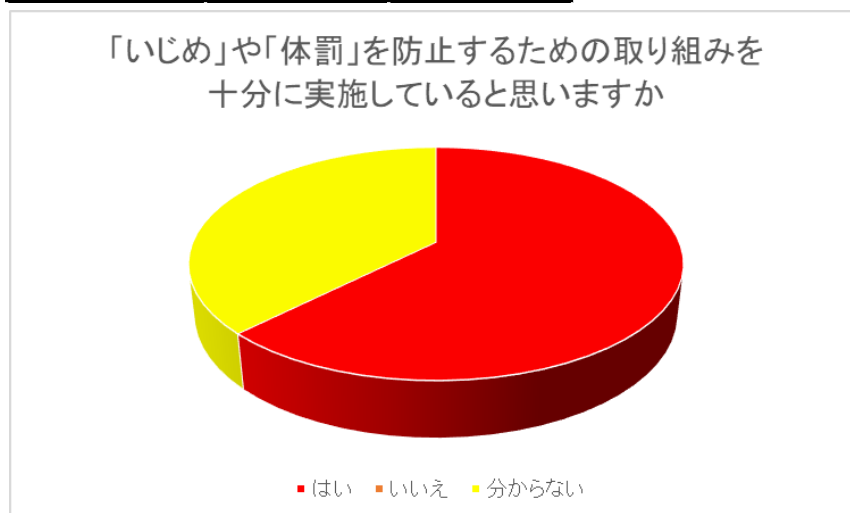
はい	4	50%
いいえ	1	13%
分からない	3	38%
	8	



【分析】コロナ禍のために清流祭や体育祭を3年間近隣・地域社会に公開していないために「分からない」という回答が38%を占めている。コロナ以前の本校の清流祭や体育祭を知っている近隣・地域社会の方は本校の学校行事が充実していると考えていると思われる。ホームページなどによって本校の取り組みを近隣・地域社会に伝えていくことが開かれた学校づくりにつながると思われる。

(8) 本校では「いじめ」や「体罰」を防止するための取り組みを十分に実施していると思いますか。

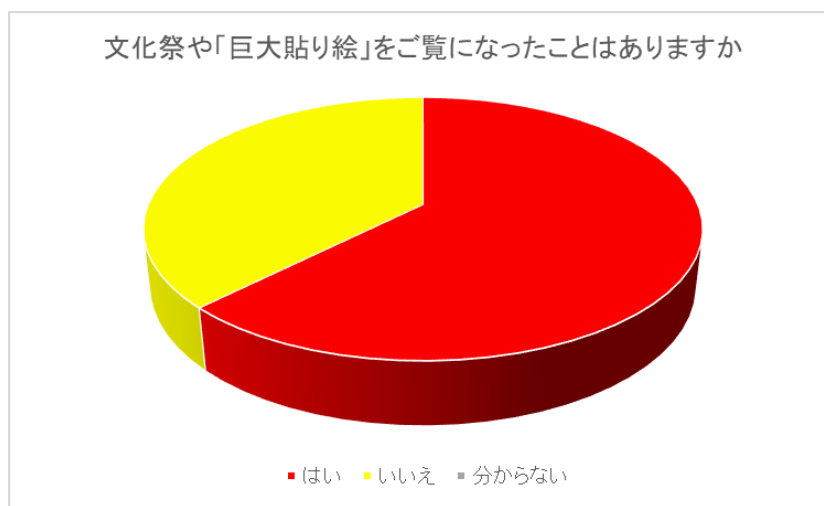
はい	5	63%
いいえ	0	0%
分からない	3	38%
	8	



【分析】全体の38%が「分からない」と回答している。「いじめ」や「体罰」等に関する指導を近隣・地域社会からわかるように行うことは難しい側面がある。生活指導部の行った「いじめ」「体罰」防止教室等を広報誌やホームページを通じて発信し、学校として「いじめ」や「体罰」の防止に取り組んでいることを示していく必要がある。

(9) 本校の文化祭や、「巨大貼り絵」を御覧になったことはありますか。

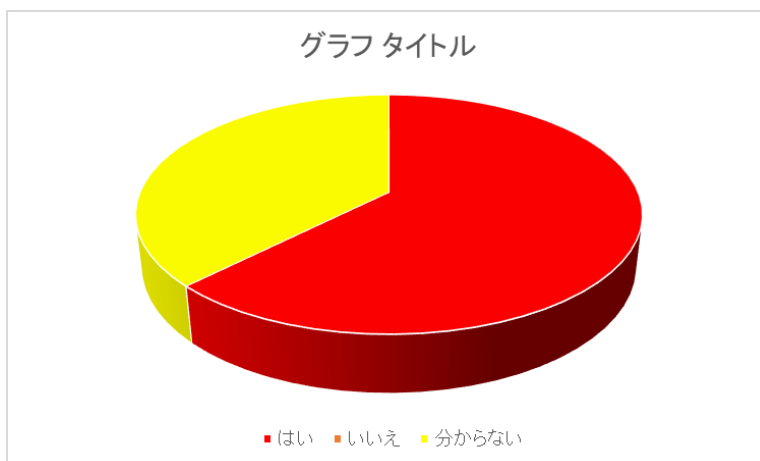
はい	5	63%
いいえ	3	38%
分からない	0	0%
	8	



【分析】全体の63%が文化祭や「巨大貼り絵」を見たことがあると回答している。3年連続で外部に公開していないことを考えるとかつての文化祭や「巨大貼り絵」を見た経験から回答しているものと思われる。コロナ禍がいつまで続くかは未定であるから、「巨大貼り絵」とは別に拝島高校ならではの文化祭を作り上げていくことが大切であると思われる。

(10) 生徒は本校の身だしなみ指導によって落ち着いた学校生活ができていると思いますか。

はい	5	63%
いいえ	0	0%
分からない	3	38%
	8	



【分析】「はい」を選択しているのは全体の63%で「分からない」が38%を占めている。文化祭や体育祭、地域との交流がコロナの影響で公開できなかつたり、交流ができなかったことから、身だしなみ指導によって学校が落ち着いているかどうかの判断がむずかしいためにこのような回答状況になったものと思われる。